

区のおしらせ

今号の主な内容

- 1~5面 新春座談会
- 6面 20歳でスタート国民年金
- 7・6面 情報コーナー(施設/講座・催し物/スポーツ/税/その他)



中央

1/1

http://www.city.chuo.lg.jp ツイッター https://twitter.com/chuo_city フェイスブック https://www.facebook.com/tokyochuo.city

新春座談会



新年明けまして

おめでとうございませす

輝かしい新春を迎え

中央区民皆さま方のご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます

中央区長 久田美英

昨年は区政万般にわたり温かいご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして各施策とも大いに充実・発展させることができました。心から感謝・御礼申し上げます。本年も皆さまと力を合わせ、「世界一の都市」を目指す東京のけん引役として、都や国と緊密な連携を図るとともに、「平和」と「環境」をすべての施策の根幹に据えた質の高いサービスの提供に努め、区政のさらなる飛躍・発展に積極果敢に挑戦まいりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年1月13日、本区の定住人口は昭和37年以来55年ぶりに15万人を突破し、まちにはにぎわいと活気が満ちあふれております。こうした人口増加は今後も続き、区の推計では「20万都市」も見込まれております。わが国が人口減少社会を迎え、少子・高齢化が加速する中、本区が活力みなぎる成長都市へと生まれ変わりましたのも、区議会をはじめ区民の皆さまのお力添えのもと、区の総力を挙げて住環境の整備を中心とした総合的な施策に取り組んだ成果であります。一方で、定住人口の増加に伴い、子育て、教育、障害者・高齢者福祉などさまざまな分野で行政課題が拡大しております。また、変革期を迎えた築地市場の問題や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後のまちづくり、増加するインバウンドに対応した観光都市づくりが急務になっているなど、本区を取り巻く環境は大きく変容しております。

そこで昨年6月、20年後の中央区を展望し、区民生活やまちの姿などの将来像を描くとともに、その実現に至る道筋を示した新たな「中央区基本構想」を、区議会の議決を経て策定いたしました。この新しい基本構想のもとに、本区を取り巻く諸課題を解決し、本区に住み、働き、集うすべての人々が幸せを実感し誇りを持つる都心中央区を目指し、本区の将来像「輝く未来へ橋をかける——人が集まる粋なまち」の実現に向けた道筋を、着実に描いてまいり所存であります。

基本構想の策定に当たっては、平成28年2月に38人で構成される中央区基本構想審議会を設置し、約一年間にわたり審議を重ねていただきました。そこで本日は、審議会の会長を務めていただきました竹内誠さま、公募区民として審議に参画していただきました立川智誉さま、中山華子さま、梶原寸真子さま、松本紗智さま、今井健さまにお集まりいただき、「中央区基本構想」をテーマに新春座談会を開催いたしました。

まちづくりの憲章

基本構想

区長 基本構想は、区と区民のまちづくりの憲章——いわば憲法のようなものであり、行政運営において最も重要な指針となるものです。

従来の基本構想は、平成10年につくった「生涯躍動へ都心再生——個性がいきるひととまち」でした。策定当時は、長期に及ぶ定住人口の減少とバブル崩壊後の長引く不況により、地域全体の活力が失われつつあった時代です。定住人口はピーク時の17万人台から7万人台へと落ち込みました。

「このままではいけない」と、総力を挙げて努力した結果、昨年1月、55年ぶりに15万人を達成しました。平成28年には、2032人の赤ちゃんが生まれるなど、定住人口はさらに増え続けています。このように、基本構想というのは、その中で目指したものを着実に実現する責務があり、非常に重要で、

一方で、急激な人口増加に伴う行政需要の拡大や、築地市場の移転、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と今後のまちづくりなど、区を取り巻く環境は大きく変容しています。こうした状況を踏まえ、輝く未来に向かって新たな中央区をつくっていくと、基本構想審議会を設置し、審議していただいたわけです。この座談会では、審議会会長を務められた竹内さまと公募区民の皆さまに、忌憚のないご意見を頂戴したいと思えます。

立川 私は、外資系のコンピュータ会社でプロジェクトマネージャーを務めています。中央区に引越してきて6年ほどになります。もともと区政や政治に興味があったこととあり、区の広報紙を愛読しています。何か自分にも社会貢献できることはないかと

考えていたときに広報紙で公募区民の募集記事を見つけ、「これなら自分にもできるのではないか」と思って応募しました。これまで行政に関わったことはありませんでしたが、その分、新鮮な気持ちで参加させていただくことができました。

中央区は交通の便がよく、とても住みやすいまちです。地下鉄が整備されていますし、最近ではカーシェアリングも充実しています。「中央区は人が住むまち」というイメージがないという人もいます。ですが、そんなことはありません。実際に住んでみると、「住んでいて良かった」「これからも住み続けたい」と思えるまちです。

中山 私は、小学校1年生の頃から中央区に住んでいます。小学校6年生のとき、中央区主催の「少年リーダー養成研修会(通称・リーダー)」に入り、大学4年生となった現在も、若葉会(リー研OB・OG会)として地域の行事やイベントでボランティアをさせていただいています。

基本構想審議会に応募した理由は、自分を育ててくれた中央区に恩返しをしたいという気持ちと、現在、看護学部で学んでいるのですが、区民の健康状況や健康維持増進について、学びを深めるチャンスだと考えたからです。中央区は、人と地域とのつながりが深いと感じています。特に「大江戸まつり盆おどり大会」のときにそれを強く感じるのですが、初めは小さな踊りの輪が、波紋のようにどんどん大きくなっていき、小さな子どもや赤ちゃんを抱い

たお母さん、近くの企業に勤めている方など、みんなが大きな一つの輪となり、踊っているのです。そして曲が終わるごとに拍手が湧き起こります。その様子を見るたびに、人と地域の絆を実感します。**梶原** 私はスポーツが大好きで、日本橋浜町にある総合スポーツセンターの恩恵を大いに受けています。中央区は高齢者福祉の施策が行き届いていると常々思っているのですが、その感謝を伝えたいという思いと、若い人を応援したいという気持ちから、応募しました。

また中央区は、高齢者施策ばかりでなく、子どもの居場所づくりや危機管理など、子育て環境も充実しています。年少期の子どもたちが気軽にスポーツにトライアルできる機会も、何回も何回も巡ってきます。クラブ活動が盛んなことも魅力です。

中山さんのお話にもつながりますが、中央区はお祭りが多いですね。それは、区民の皆さんが豊かな伝統やチームワーク、つながりを大切にしている気持ちの表れなのではないかと思えます。地域のお祭りが連続と続くということも、まちの力なのだと思います。**松本** 私は、小学生と保育園児の2人の男の子を育てるワーキングマザーです。普段はフルタイムで仕事をしています。中央区には、独身の頃から10年間ほど住んでいて、結婚、出産といったライフスタイルの変化をこのまちで迎えてきました。そういった中で、子どもたちが暮らす未来を考えると、素晴らしい機会と捉え、応募しました。

現在住んでいる所の周辺には、高層ビル、高層マンションとともに下町の風情が残っていて、それらが分断されずにうまくミックスされています。以前は日本橋人形町に住んでいたこともありましたが、中央区は地域ごとに素晴らしい特色があると感じています。居住者としては、衣食住がコンパクトにまとまっていることに高い利便性を感じています。職場へのアクセスもよく、保育園から呼び出しが簡単です。時間的なロスが少なく職住近接のメリットを享受しています。また、子どもたちが歩いていると、地域の皆さん

が温かく接してくださり、治安の良さも感じています。**今井** 私は、平成14年に群馬から上京してきて以来、区内のタワーマンションに住み続けています。この間に結婚して、今年2人目の子どもが生まれる予定です。基本構想審議会に応募した理由は三つあります。一つ目は、以前、マンションの理事長に就任した際——そのときは東日本大震災の後だったのですが、区に、住民の安全に関する相談を何度かさせていただきました。そのときの区のしつかりとした対応に感銘を受けたのです。二つ目は、子どもが生まれたとき、子育てに優しい区であると実感したので、子育て世代の転入や新生児の誕生がさらに増えている状況の中、インフラ

▲第1回基本構想審議会(平成28年2月9日)



やソフトウェア的なサービスが足りているのだろうか、区はどのように考えているのかと興味がありました。三つ目は、少子高齢化が進む中、中央区が、「未来の都市づくりとはこうあるべきだ」というような、20年後を考えると旗振り役になる可能性があると考え、新しい憲章づくりにぜひ参加したいと思ったからです。

竹内 審議会の会長を務めさせていただきます。私は日本橋人形町で生まれ、育ちました。子どもの頃は、学校帰りに友達とよく「大門通り」で遊んだものです。大門通りという名は、かつて江戸前期に遊郭で有名な吉原があった名残です。もちろん、当時は何も知らずに遊んでいましたが、歴史を勉強するよ

Profile

立川 智誉さん
中央区基本構想審議会委員



Profile

中山 華子さん
中央区基本構想審議会委員





Profile
梶原 寸真子さん
中央区基本構想審議会委員

立川 いま、竹内会長が話されたようなお話を、審議会で聞くことがあり、中央区は本当に伝統のあるまちなのだと、しみじみ実感したものです。

私は、三つある専門部会のうち、「躍動部会」に参加しましたが、会には基本構想策定に関わらなければ交流することとはなかったと思われる方が、たくさんいらっしゃいました。とても勉強になり、良いまちに暮らしていると再認



策定に携わって

うになり、「すごいところで遊んでいたものだ」と驚きました。当時は、町じゅうで三味線の音も聞こえていましたし、知らぬ間に江戸的な環境の中で育っていたのですね。そんなこともあり、私は江戸の歴史を研究する道に進み、国立大学を定年後、江戸東京博物館の館長に就任しました。その節、「**熙代勝覧**」という江戸・日本橋かいわいのにぎわいを描いた絵巻と出会い、その展覧や解説を行ったご縁で、名橋「日本橋」保存会名誉会員となりました。また、中央区江戸開府四百年記念事業実行委員会会長、中央区町名検討委員会座長なども微力な

から務めさせていただきました。私はそうしたお手伝いをしているうちに、「伝統を学ばなければ新しいことは見えてこない。しかし、伝統にのみへばりついていては新たな創造は生まれぬ」ということをつくづく感じるようになってきました。

識しました。審議の中で特に印象に残っていることは、緑化の促進と水辺の活用について活発に議論されたことです。区役所前の首都高速道路をふさいで、公園を設け緑を増やす、また隅田川テラスを使って、音楽祭などのイベントを開催するなどさまざまな意見が出されました。そういった意見の一つ一つに、「どうすれば中央区がもっと素敵にまちななるか」という委員の皆さまの熱い思いを感じました。その部会の際に意見としてお伝えしたのですが、中央区にはぜひ海外の企業を誘致して、地域の活性化を目指すことをご検討いただければと思います。区内には観光地としての見所は数多くあり、働くにも住むにも美しく、安全で交通の利便性が高いまちです。海外に行くとき、その素晴らしい景色を改めて実感しますが、海外からいらした方々も同様に感じるのではないのでしょうか。

中山 私は、医療や健康に関する「安心部会」に参加しました。その中で多く取り上げられたのは、地域のコミュニティ形成についてです。例えば、中央区のシルバー人材センターでは、650人ほどの高齢者の方々が登録され活動されています。急速に高齢化が進展する現代において、高齢者に役割があるということもとても重要です。産業のまちとして栄えてきた中央区には、かつて専門職や技術職として活躍されていた高齢者の方が多くいらっしゃると思いますが、その方々の活躍の場となるコミュニティをつくることで、役割の創出、地域の活性化につながるのではない



▲三越前駅コンコースに設置された「熙代勝覧」複製絵巻

梶原 審議会が始まった頃、矢田区長より、「中央区は、今まさにベビーブームです」と伺いました。団塊世代の私にとっては懐かしく、もう二度と聞くことはないと思っていた言葉でしたが、改めて日常を振り返れば、まちには若い人が多く、地域の盆踊り大会や区の雪まつりには大勢の子どもたちが参加します。半世紀近くにも及ぶ人口流失を見事克服し、定住人口15万人超という勢いのある「都心再生

を實現。「ファミリーレストランがオープンしたときうれしさ」などのお話を伺い、中央区の歴史と関わってこられた皆さまの思いやご尽力に気付きました。

私は「快適部会」に参加しましたが、都市緑化や防災・減災への取り組みについても、中央区にふさわしい先端技術の提案や、さまざまな意見の交換がありました。頼もしい未来を想像するとともに、多くを学ばせていただきました。

でしようか。会議の中で、「コミュニティをつくるに当たって、「人と会って何をやるのか」を考えるのが大事だと伺いました。例えば、子育て世代のお母さんたちが集まって子育ての悩みを共有したり、高齢者の方々が介護予防を目的として、体操を行ったりといったことです。そのような場を、行政に任せきりというのではなく、区と住民とが一緒になってつくり上げていくことの大切さを知ることができました。

私には「快適部会」に参加しましたが、都市緑化や防災・減災への取り組みについても、中央区にふさわしい先端技術の提案や、さまざまな意見の交換がありました。頼もしい未来を想像するとともに、多くを学ばせていただきました。

私には子育て世代の一人として、将来子どもたちの住む環境について考えながら参加したのですが、必要と思う施策を基本構想に盛り込んでいただくに当たり、声を上げていくことの大切さを痛感しました。とはいえ、なかなか日常的にそういう話をする機会が見つからないのが実情です。そういった私たち世代の声をどのように発信していったら良いか、また策定に携わった一人として、20年後の将来像を描いた基本構想の内容をどのように区民の皆さんにお伝えし、その内容を理解していただけるかというのを、今後も自分の中で課題として考えていきたいと思っております。



▲第29回「区民スポーツの日」マラソン大会

私には子育て世代の一人として、将来子どもたちの住む環境について考えながら参加したのですが、必要と思う施策を基本構想に盛り込んでいただくに当たり、声を上げていくことの大切さを痛感しました。とはいえ、なかなか日常的にそういう話をする機会が見つからないのが実情です。そういった私たち世代の声をどのように発信していったら良いか、また策定に携わった一人として、20年後の将来像を描いた基本構想の内容をどのように区民の皆さんにお伝えし、その内容を理解していただけるかというのを、今後も自分の中で課題として考えていきたいと思っております。

今井 審議会に参加して非常に良かった点は、大きく二つあります。一つ目は、審議会に参加した委員一人一人が妥協せず、一言一句を大切にしながら文書にまとめていったことです。議論したことを残していくという責任感の強さを感じられました。二つ目は、



Profile
今井 健さん
中央区基本構想審議会委員

審議会の中で、私たち区民の言葉を最重要視していただいたことです。委員の皆さまが、区民の視点で発言されていることに温かさを感じました。特に印象に残ったことは、「快適部会」の副部会長が、「パリやロンドンは運河からの景観が非常にきれいだが、東京にはそのようなイメージがない」と発言されたことです。それに対し、部会長が、「中央区では、ほとんどの建築物が川に背を向けている。川辺を整備していくことが必要だ」と意見され、「なるほど」と、非常に納得させられました。



▲桜満開の佃公園

IT関係の企業に勤める私としては、一つ残念だったことがあります。それは、20年後を見据えたテクノロジの活用についての議論がなかったことです。20年後には、一家に1台ロボットがあるかもしれない。そういう世界についても意見を交わすことができれば良かったと思います。竹内 私も、一字一句にこだわりを持ち、時間を費やしたことが思い出されますね。例えば「あこれ、激しい議論が展開された」という言葉一つを巡って、苦勞した点は、中央区といってもさまざまな地域がありますが、それぞれの個性をどう出すか——ということ。また、他の区とは異なる、中央区ならではの答申を導き出すにはどうすれば良いか、という点にも悩みました。さて、こうした苦勞の末に生まれたのが、「輝く未来へ橋をかける——人が集まる粋なまち」という基本構想をまとめた「橋」と「粋」という言葉

は、まさに中央区ならではのものと言えるでしょう。昔から、大都市を築くには水運のための川や堀が必要でした。江戸時代の当地域は、水運による商品流通がもつとも盛んな地であり、川・堀が縦横に張り巡らされていきました。川・堀があれば「橋」が必要となりますので、結果として中央区は「橋」の多い地域になったのです。今や、過去と未来をつなぐ架け橋としても、景観の一部としても、「橋」は中央区を象徴する存在です。中でも日本橋は江戸以来、全国里程の起点という名橋です。続いて「粋」についてです。「粋」は、江戸時代に下町の町人の暮らしの中から生まれた言葉です。下町は、江戸城の御城下町の略称で、下町の中心は現在の中央区域にありました。そこで生まれたライフスタイルこそが「粋」だったのです。「粋」は、他人に不愉快な思いをさせない、思いやりの心を持つ、といった美意識です。

このように、中央区の基本構想は「橋」と「粋」という中央区ならではの言葉を活かした素晴らしいコンセプトで、未来を描いています。区長 皆さま、中央区を愛し、情熱を持って参加してください。ありがとうございます。今、竹内会長から「橋」についてのお話がありました。中央区は水の都であり、都内23区26市5町8村の中で最も水辺が多いところです。66の橋が架かり、日本橋、清洲橋、永代橋、勝鬃橋といった国宝級の橋、重要文化財に指定されている橋もあります。「未来に向かつて新たな橋を架け

ていく」という意味を込め、中央区基本構想審議会の皆さまに素晴らしい答申として発信していただきました。また、「粋」についてですが、『歴代勝覧』の絵巻が、まさに「粋」なまちの雰囲気を表していると感じています。それを、未来へとつなぐことができ、私たちの使命です。今回の基本構想には、皆さまのおっしゃるとおり、さまざまな工夫で中央区らしさを中央区ならではの施策を盛り込んでいただきました。これからは、この基本構想を具現化するために、区がすべきこと、区民一人一人にできることは何か、引き続き考えていかなければなりません。



立川 基本構想の実現に向けては、区民一人一人が自分の住んでいる地域や行政に関心を持つことが大切だと考えています。多くの人は、日々の生活に追われ、自分の属するコミュニティの未来について考えるチャンスがなかなかありません。審議会の公募区民として私が経験したことをお話しし、一人でも多くの方にそれらに関心を持っていただけたらと思っています。先日、新聞に日本橋上空の高速道路の地下化について、地元の方へのインタビュー記



Profile
竹内 誠さん
中央区基本構想審議会会長
江戸東京博物館名誉館長



▲第28回中央大江戸まつり盆おどり大会

いでしようか。築地の移転のときと同様に、例えば日本橋が新しく変革するとなると、みんなが関心を持つと思うのです。みんなが将来に期待感を持てるような新しいアイデアを生み出すことができれば、多くの方に関心を持ついただけるだろうと思います。中山 審議会の資料として、中央区の現状や未来を見据えたデータが、その中に衝撃的なデータがありました。それは、「近隣に家族や助け合える友人・知人の有無」の問いに対し、半数弱の人が「いない」と回答していたのです。その理由は、「必要性は感じるが、知り合える機会がない」

というものでした。中央区は、定住人口の増加に伴い、にぎわいも増えています。しかし、そのにぎわいの核となる仕掛けづくりをするのは誰なのでしょう。以前、子ども祭りの手伝いをしたとき、町内会の方から聞いた言葉が忘れられません。「この場所を子どもたちの故郷にしていかなくてはならない。だから、たくさんの子どもの家族、近所に住むおじいちゃん、おばあちゃんにも参加してほしい」とおっしゃっていたのです。そういう思い合いをつくる機会はあるはずですが、情報が入手しにくかったり、参加が難しかったり、



矢田 美英 区長

たりといった現状があるのか
もしれません。ライフスタイ
ルの多様化に伴い、地域の在
り方も進化が必要なのだと思
います。何年経っても、「中
央区にいとホッとすると、
居心地がいいね」と思えるよ
うな下町であり続けますよう
に、と願っています。

梶原 審議会では、都市緑化
についてのお話も伺いました。
水辺や街路だけでなく、ビル
の屋上、壁などがグリーンに
染まる美しいまちは、想像す
るだけでも楽しいものです。
20年後、もしくはもっと近い
将来、子どもたちが描く風景
画はどんな色彩になるのでし
ょうか。

今後、基本構想を実現して
いくために意識していきたい
ことの一つに、3R(リデュ
ース・リユース・リサイクル)
活動があります。清らかな水
きれいな空気を次代へ継いで
いくことは、大きな責務だと
思うからです。

なお、審議会に参加して、
初めて「プロアクティブ・コ
ミュニティ」という言葉を知
りました。これは、自ら率先
して地域における課題を解決
し、快適な暮らしを実現して

いく社会を意味する言葉です。
私は、中央区はすでに「プロ
アクティブ・コミュニティ」
が確立されつつあると感じて
います。区民一人一人が、可
能な限り自らの経験や知恵を
持ち寄り、協力し合って地域
活動を行っているからです。
私自身もコミュニティの一
員として、引き続き参加して
いきたいと思っています。

松本 私も、基本構想の実現
に向けて大切なのは、当事者
である区民が区のことに関心
を持って行動していくことだ
と思います。今回、私は審議
会に参加する機会に恵まれ、
さまざまな知恵が集まる場を
体験させていただきました。
日常においても、区民一人一
人が自分とは異なる立場の
方々と主体的に関わっていく
ことで、区全体が基本構想の
示す、よりよい方向へ向かっ
ていくことができるのではな
いかと思います。

また個人的には、今後、子
どもたちに関わることについ
て、主体的に携わっていきたく
いと思っています。実はすで
に、「中央区子ども・子育て
会議」に参加しています。こ
の会議は、区が策定した子ども

も・子育て
支援に関する
施策の実
施状況など
について、
点検や評価
計画の見直
しを行って
いく区の附
属機関です。
基本構想審
議会は20年
後の未来で
したが、子
ども・子育て
会議はも
う少し近い
未来につい
て考える取
り組みです。
この中でより具体的な提案を
していけたらと思っています。

今井 基本構想を実現するた
めに必要なことは、この基本
構想の価値観を関係者と区民
全体とで共有することです。
う。私が「パパ友」や同じマン
ションの住民に基本構想の取
り組み内容を話すと、皆さん
興味を示してくださいます。
そういうとき、区が作成した
このパンフレットは、「これ
を読めばよく分かりますよ」
と読んで渡せるのでよいです
ね。

先ほど、梶原さんのお話
もありましたが、「プロアク
ティブ・コミュニ
ティ」という
言葉は、私自身
とても気に入っ
ています。異な
る立場の方々が
自発的に課題を
見つけ、対応し
ていくのは、と
ても良いことで



▲ボールを使った運動(いきいき勝どき)



▶「中央区基本構想」パンフレット

す。今後、さまざまな施策が
検討され、実行されていくと
思います。その都度、基本
構想が参照され、その趣旨が
正しく反映されることに期待
しています。

今後、区民を代表し基本
構想づくりに携わった一人と
して、さまざまなコミュニテ
ィの中で機会を見つけ、こ
の基本構想を正しく周囲に伝
えていきたいと思っています。ま
た、この基本構想が10年後、
20年後も色あせることなく、
価値あるものとして残り続け
ることを願っています。

竹内 何をやるにしても、ま

ず自分の住んでいる地域、働
いている地域を愛することが
大切だと思います。地域の歴
史について話し合ったりする
ことも、地域を愛することに
つながります。それがきつ
つなで、人々は地域への関心
を高め、その地域をもっとよ
くしていこうとするのではない
でしょうか。

さて、「下町の江戸っ子」と
いうと、排他的なイメージを
持つ人がいますが、それは間
違いです。江戸っ子のお祭り
は、他の地域から来たばかり
の人にも神輿を担がせてくれ
ます。江戸は新興都市で
すから、各地から人が集
まって成り立っていました。
現在、中央区も同様、
各地から人が集まって、
人口が増えています。で
すから、かつての江戸っ
子のように、包容力を持
って、さまざまな立場の
人々を受け入れ、共生し
ていく心を忘れてはなり
ません。包容力も「粋」な
スタイルの一つなのです。

「自助」「共助」「公助」と
いう言葉がありますが、
区民同士が「自助」「共助」
できる環境を、区政の「公
助」でサポートしていた
だければと希望します。

最後に、区長をはじめ
委員の方々、区の職員、
さらには関係区民の方々の
多大なご協力のおかげ
で答申ができましたこと、
改めて感謝申し上げます。
ありがとうございました。

区長 現代の技術革新は
素晴らしく、今後もさら
に発展していくと予想さ
れます。20年後には、今
では考えられないような

ことが当たり前に行われてい
るでしょう。私たちは、こう
した変化に伴い、新しいこと
をどんどん吸収し、実行して
いかなければなりません。
本区のさらなる飛躍には、
公募区民の皆さまもおっし
やっていたように、「プロアク
ティブ・コミュニティ」の確
立が非常に重要です。東京都
は今、世界一のまちをつくら
うとしています。他の自治体
に負けないよう、私たち中央
区がそのけん引役を務めなく
てはならないと思っています。
そのためには、次代を担う子

どもたちが希望に満ち、自ら
の力で未来を切り開いてい
けるような質の高い教育を展
開していくことが大切です。
今後、この新しい基本構想、
そして今年2月に策定予定の
基本計画をもとに、将来像の
実現に向けて全力を注いでい
きます。また、中央区の魅力
に磨きをかけ、世界に誇れる
「誰もが憧れるまち」を築き上
げるべく、輝かしい未来へ夢
と希望の橋を架けていきます。
本日は、貴重なお話をいた
だき、誠にありがとうございました。



▲上空から望む中央区

情報コーナー(7面からのつづき)

育児中のママやパパたちのための「ほっと一息私の時間」

日 1月17日(水) 午前10時~11時30分
場 女性センター「ブーケ21」

対 区内在住で幼稚園や保育園に入園していないお子さんの保護者

[テーマ] ころやすらぐ手づくりキャンドル~炎のゆれや良い香りで、癒しのひと時を過しましょう~

[講師] (株)ルシエル インストラクター 齋藤 瞳

定 12人程度(先着順)

費 無料

[持ち物] 筆記用具、キャンドル持ち帰り用の小袋

申 1月5日(金)から電話で申し込み(受け付けは午前9時~午後5時)

[託児] 生後3カ月~未就学のお子さんをお預かりします。希望する方は、参加申し込みの際に一緒にお申し込みください(月齢により定員あり)。

問 総務課女性施策推進係

☎(5543)0651

スポーツ

健康セミナー ヨガ健康法教室

日 2月14日~3月7日の毎週水曜日 計4回

午後6時30分~8時30分

場 築地社会教育会館3階第三和室



対 中小企業に勤務する区内在勤者および区内在住者

内 体のバランスを整え代謝を高めることで、筋力、持久力を向上させ、

しなやかで健康的な体をつくりまします。初めての方や運動が苦手という方も安心してご参加ください。

定 25人(申し込み多数の場合は抽選) 費 1,000円

日 1月19日(必着)までに往復はがきに①~⑤(7面記入例参照)⑥在勤者は勤務先(名称・所在地・電話番号)を記入して申し込む。

問 〒104-0061

中央区銀座4-9-8 NMF銀座四丁目ビル2階 レッツ中央(中央区勤労者サービス公社)

☎(3546)8610

税

1月は特別区民税・都民税(普通徴収分)第4期分の納期

金融機関、郵便局、コンビニエンスストア、モバイルレジまたは区役所2階税務課、日本橋・月島特別出張所で1月31日(水)までに納めてください。なお、コンビニエンスストアとモバイルレジについては納付書に記載された額が300,000円以下でバーコードのあるものに限りま

問 税務課収納係

☎(3546)5276

平成30年度給与支払報告書の提出は1月31日(水)までに

給与の支払いをしている事業者の方は、1月31日(水)までに給与支払報告書(総括表・個人別明細書)を平成30年1月1日現在で給与所得者が居住している住所地の区市町村長に提出してください。

この給与支払報告書により、5月中旬ごろ、区市町村長から平成30年度の住民税額(特別徴収分)が通知さ

れます。

なお、1月1日から通知書を送付するまでの間に納税義務者が国外転出される場合には、納税通知書を本人の代わりに国内で受け取り納税する納税管理人が必要です。

問 税務課課税係

☎(3546)5275

給与支払報告書の提出は、便利な電子申告システム(eLTAX)をご利用ください

eLTAXのご利用には、あらかじめ電子証明書の取得など、所定の手続きが必要です。

詳しくは、eLTAXホームページをご覧ください。ヘルプデスクまでお問い合わせください。

問 ヘルプデスク

☎(0570)081459

HP eLTAX地方税ポータルシステム

http://www.eltax.jp/



その他

(仮称)中央区住宅宿泊事業の実施に関する条例(素案)への意見募集

区では、住宅宿泊事業(民泊)の適正な運営を確保し区民の生活環境面悪化を防止するため、「(仮称)中央区住宅宿泊事業の実施に関する条例」を制定します。現在、この素案に対するご意見を募集しています。[意見の募集期間] 1月17日(水)まで [閲覧場所] 中央区保健所3階生活衛生課、区役所1階まごころステ

ション・情報公開コーナー、日本橋・月島特別出張所の他、区のホームページでもご覧になれます。

[意見の提出方法] 住所、氏名(団体の場合は団体名と代表者名)、年齢、電話番号を明記して、中央区保健所3階生活衛生課に持参、郵送、ファクス、Eメールまたは区のホームページのパブリックコメント(区民意見提出手続き)からお寄せください。

[問い合わせ・意見の提出先]

〒104-0044

中央区明石町12-1

中央区保健所生活衛生課生活衛生係

☎(3541)5936

FAX(3546)9554

E seiei_01@city.chuo.lg.jp

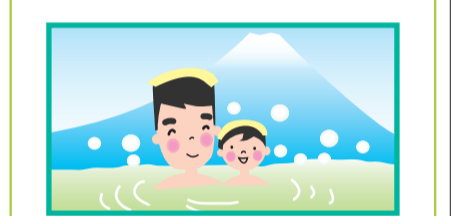
祝日のごみ収集

1月8日(祝)「成人の日」は、月曜日の収集地域で通常どおり、燃やすごみ・燃やさないごみ、資源およびプラスチック製容器包装の収集を行います。

問 中央清掃事務所作業係

☎(3562)1521

コミュニティふれあい銭湯



日 1月12日(金)・26日(金)

◎ 1月12日はギョリュウバイの湯 場 区内公衆浴場

費 100円(敬老入浴証持参者と小学生以下は無料)

問 地域振興課区民施設係

☎(3546)5623

◎平成29年12月中旬にお送りした案内状に同封の入場券を、当日必ずお持ちください。区内にお住まいで、案内状が届いていない方はご連絡ください。

人生の節目に集い、共に成人を祝いましょう。新成人の皆さん、ぜひご出席ください。 日 1月8日(祝) 受け付け 午前10時40分~ 式典 午前11時30分(2時間程度) 場 ロイヤルパークホテル(日本橋筋数軒2-1-1) 内容 記念式典(手話通訳があります) ・新成人のつどい 懇談(立食パーティー形式) やクイズ大会などのアトラクション

中央区成人の日記念式典 「新成人のつどい」 日本に生んで20歳以上60歳未満の方は、必ず国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。20歳になったら加入手続きが必要ですが、厚生年金の加入者は除きます。 加入手続き 日本年金機構から送付される「加入届」または「資格取得届」を持参の上、区役所4階

20歳でスタート 国民年金 加入手続きの漏れや保険料の納め忘れがあると、将来受ける老齢基礎年金が減額されたり、万一のけがや病気で障害が残ったときに障害基礎年金を受け取れなくなる場合もあります。 ◎学生や収入が少なく保険料の納付が困難な方は、「学生納付特例制度」や「納付猶予制度」などを保険年金課で申請してください。ただし、所得制限がありますのでご相談ください。 問 保険年金課保険年金係 ☎(3546)5371

日 1月13日(土) 午前10時~正午 場 教育センター5階視聴覚ホール 内容 五街道の基点である本区と近隣他区との歴史的・文化的な関連性や比較などを中心に、本区の魅力を再発見する歴史講座です。 講師 中央区文化財保護審議会委員 平野英俊 定員 100人(先着順) 費用 無料 ◎当日、直接会場へお越しください。 問 郷土天文館「タイムドーム 明石」 ☎(3546)5537

郷土天文館・冬の歴史リレー講座 中央区で語るつながる江戸・東京 中央区に息づく伝統芸能



▲昨年の様子

凡例 日日時 会場 対象 内容 定員 費用 申し込み方法 問い合わせ(申込先) HP ホームページアドレス Eメールアドレス

情報コーナー

遊ぶ 知る

学ぶ

施設

図書館の臨時休館

- 京橋図書館** 2月12日(休)
 - 日本橋図書館** 2月5日(月)
 - 月島図書館** 2月11日(祝)
- ◎詳しくは各図書館にお問い合わせください。
- 問京橋図書館** ☎(3543)9025
 - 日本橋図書館** ☎(3669)6207
 - 月島図書館** ☎(3532)4391

講座・催し物

いきいき館(敬老館) 新春のつどい

いきいき桜川(桜川敬老館)

日 1月26日(金) 午後1時30分開演(午後1時開場)

場 いきいき桜川大広間

内 民謡、民舞、ウクレレ、オカリナ、フラダンス、コーラスの各教室1年間の練習成果を発表します。

定 120人(先着順)

いきいき浜町(浜町敬老館)

日 1月13日(土) 午後2時開演(午後1時30分開場)

場 いきいき浜町大広間

内 大道芸

[出演] 佐藤勝紀(相撲アラカルト・創作玉すだれ)、角福禎(不動金縛りの術)、麻布十兵衛(傘芸・江戸曲独楽)

定 60人(先着順)

いきいき勝どき(勝どき敬老館)

日 1月19日(金) 午後1時30分開演(午後1時開場)

場 いきいき勝どき大広間

内 寿獅子舞と新春落語

[出演] 鏡味仙三郎社中(獅子舞・太神楽)、林家正雀(落語)、林家楽一(紙切り)、柳亭市若(落語)

定 80人(先着順)

共通

対 60歳以上の区内在住者(いきいき館の利用者証が必要)

◎当日、直接会場へお越しください。

費無料

- 問いきいき桜川(桜川敬老館)** ☎(3553)0030
- いきいき浜町(浜町敬老館)** ☎(3669)3385
- いきいき勝どき(勝どき敬老館)** ☎(3531)3258



▲昨年(いきいき桜川)の様子

記入例(はがき・ファクス)



1人1枚 限り

往復はがきの場合は返信用の宛名に〒・住所・氏名を記入

- ①講座名など
- ②氏名・ふりがな
- ③〒・住所
- ④電話番号
- ⑤年齢
- ⑥その他必要事項

- ◎問に〒・住所が記載されていない場合の宛先は 〒104-8404 築地1-1-1中央区役所 ○○課○○係(問の宛名)
- ◎「電子申請も可」と記載されているものは 区のホームページの電子申請から申し込みも可能

歴史を紡ぐ教養講座 元禄赤穂事件「南部坂 雪の別れ」

日 1月20日(土) 午後2時~4時

場 いきいき浜町大広間

対 60歳以上の区内在住者(いきいき館の利用者証が必要)

内 忠臣蔵屈指の名場面「南部坂 雪の別れ」の真相に迫ります。

定 80人(先着順)

費無料

◎当日、直接会場へお越しください。

問いきいき浜町(浜町敬老館) ☎(3669)3385



高齢者の毛筆写経教室 (レベルアップコース) ~作品として飾れる写経を書く~

日 2月9日(金)・23日(金)、3月9日(金)・23日(金) 計4回 午前9時30分~11時30分

場 シルバー人材センター会議室

対 55歳以上で、小筆使いに慣れている方

内 すずりて墨をすり「般若心経」を書き写します。

- ・作品として飾れることを目指す
- ・写経の最後に願文を入れる
- ・希望者は半紙以外の紙に写経

[講師] シルバー人材センターの会員

定 16人(申し込み多数の場合は抽選)

費2,500円(テキスト・教材費を含む)

申 1月12日(必着)までに往復はがきに①~⑤(7面記入例参照)⑥申し込み理由を記入して申し込む。

◎当選者は当選はがきで指定された口座に受講料を納入してください。期日を過ぎた場合は、補欠の方に受講の資格が移ります。

問〒104-0032 中央区八丁堀3-17-9京華スクエア1階 ☎(3551)2700

高齢者向けパソコン教室 ~ゆっくり楽しくチャレンジ~

はじめてインターネット&メールコース

日 2月5日(月)~15日(木)(土・日曜日、祝日を除く) 計8回 午前9時30分~11時30分

内 ・ホームページの検索

- ・興味のあることを調べる
- ・メールの基本を学ぶ
- ・メール文を作成して送受信する

費6,400円

◎テキスト代は別で、FOM出版「パソコン入門(Windows7)」(1,080円)を使用します。

デジタルカメラの写真でアルバム作り

日 2月19日(月)~23日(金) 計5回 午前9時30分~11時30分

内 ・自分のデジタルカメラを使った撮影実習

- ・写真的取り込みとプリント方法
- ・写真整理の方法
- ・オリジナルアルバムや写真入りはがきの作り方

費4,000円

- ◎テキスト代は別で、オリジナルテキスト(300円)を使用します。
- ◎デジタルカメラを持参してください。



共通

場シルバー人材センター2階パソコン研修室

対 60歳以上で、簡単な文字入力のできる方

[講師] シルバー人材センターの会員

定 各コース10人(申し込み多数の場合は抽選)

申 1月12日(必着)までに往復はがきに①コース名②~⑤(7面記入例参照)⑥パソコンの機種名⑦申し込み理由を記入して申し込む。

- ◎1枚のはがきで両コースの申し込みができます。
- ◎以前に受講された方も申し込むことができます。
- ◎当選者は当選はがきで指定された口座に受講料を納入してください。期日を過ぎた場合は、補欠の方に受講の資格が移ります。
- ◎パソコンのOSはWindows7です。

問〒104-0032 中央区八丁堀3-17-9京華スクエア1階 中央区シルバー人材センター ☎(3551)2700

NPO法人築地居留地研究会 講演

日 1月13日(土) 午後2時~4時

場 聖路加臨床学術センター3302号室(築地3-6-2)

内 聖路加国際病院の創業者トイスラー博士は1900年2月に夫人とともに来朝。先進医療はもとより看護婦の教育、公衆衛生、医療社会事業など、当時の日本には無かった考えを一つ一つ植えていったトイスラー博士の偉業についてお話します。

[テーマ] 築地居留地跡に建つ聖路加国際病院の歴史と創業者トイスラー博士の偉業

[講師] 聖路加国際大学学術情報センター大学史編纂・資料室 藪 純夫

定 80人(先着順)

費無料

- ◎当日、直接会場へお越しください。
- ◎講演終了後、居留地ツアーと講師を囲んでの茶話会を開催します(希望者のみ、茶話会は参加費500円)。

[後援] 中央区

問NPO法人築地居留地研究会事務局 ☎(3551)7595

新春経済講演会

日 1月18日(木) 午後2時~4時

場 区役所8階大会議室

対 区内企業経営者および経営幹部

[テーマ] 2018年内外経済の動向

[講師] (株)第一生命経済研究所経済調査部・首席エコノミスト 熊野英生

定 100人(先着順)

費無料

申 区役所7階商工観光課で配布する用紙に記入してファクスで申し込む。

- ◎申込書は区のホームページからダウンロードすることもできます。

問商工観光課中小企業振興係 ☎(3546)5487 FAX(3546)2097

映画鑑賞会 16ミリフィルム上映会

日 1月20日(土) 午後2時~

場 京橋図書館鑑賞室

内 映写機を使って京橋図書館が所蔵している16ミリフィルムを上映します。普段目にする機会の少ない、かつての東京の姿をお楽しみください。

[上映作品] 「佃島住吉神社大祭」(約50分、昭和52年制作)

定 25人(先着順)

費無料

- ◎当日、直接会場へお越しください。
- ◎作品の概要についてはお問い合わせください。

問京橋図書館 ☎(3543)9025

もっと知りたい! 第2日曜日は天文・宇宙のトビラ

宇宙に生命を探す! 太陽系探査の最前線

日 1月14日(日) 午後1時~2時(途中入退場不可)

場 タイムドーム明石プラネタリウムホール

内 地球の隣にある惑星・火星、極寒の地である土星の月には、地球に似た環境が存在し、生命を持つ可能性があるといわれています。太陽系に関する生命の最前線の探査について紹介します。

[講師] 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻准教授 関根康人

定 86人(先着順)

費無料

- ◎当日、直接会場へお越しください。
- ◎入場整理券を当日正午から6階受付で配布します。

問郷土天文館「タイムドーム明石」 ☎(3546)5537



(7) テレビ広報番組「こんにちは 中央区です」(15分番組)は、東京ベイネットワークのケーブルテレビ111チャンネル(毎日AM10:00・PM0:00・PM8:00)、東京ケーブルネットワークのケーブルテレビ111チャンネル(毎日AM9:30・PM0:00・PM7:30)、J:COM東京のケーブルテレビ111チャンネル(毎日PM0:15・PM8:15)で放送しています。

山形県東根市 オーストラリア・サザランド市
友好都市・姉妹都市から

新春メッセージ

東根市長



土田 正剛

サザランド市長



カーメロ・ペシ

新年明けましておめでとうございます。区民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年、さまざまな事業を通して、両都市の交流が促進された年となりました。2月に盛大に開催された第19回中央区雪まつりでは、本市からお届けした雪で、楽しみに雪遊びをする笑顔に満ちた子どもたちの姿を目の当たりにしたところです。また、

中央区の皆さまに新年のごあいさつを申し上げます。
姉妹都市である中央区とサザランド市にとって2017年も素晴らしい年となりました。両都市の中学生が相互に交流を重ねる「海外体験学習事業」では、以前参加した子どもたちが大人になり、自らの家庭にホームステイを受け入れるなど、次の世代に受け継がれていく様子を目の当たりにし、大変うれしく思っております。
現在、私どものところでは来年の受け入れについて、

多くの問い合わせがきています。オーストラリアと日本の家庭が、目を見張るような経験、新たな言語の習得、永遠の友情といった文化交流の恩恵を受ける機会があることは素晴らしいことです。
昨年はオーストラリアの11の家庭が日本の生徒たちを受け入れました。訪問の最後に、生徒たちがホストファミリーや友達に別れの言葉を述べた際には、涙が流れる場面がありました。充実した生活体験の中で、友好の絆が結ばれた証でした。一方、サザランド市の学生11人が日本を訪問した際には、中央区での交流など一緒に過ごした時間を大いに楽しみました。
文化的な理解とグローバルな友情関係を深めるこの交流事業は、いろいろな方から評価をいただいています。私どもは、年月が経ってもこれらのことを忘れないようにしていきたいと思っています。
サザランド市と市民を代表して安全かつ幸福に満ちた素晴らしい2018年になるようお祈りいたします。

6月に本市で開催した東北地方最大級の観光マラソン「第16回さくらんぼマラソン大会」には、中央区から41人もの参加をいただき、地域ブランドとして国の地理的表示(GI)保護制度に登録された「東根さくらんぼ」をはじめ、初夏の東根市を楽しんでいただきました。
さて本年は、2月に子ども交流事業として、中央区の皆さまを本市にお迎えいたします。本市の屋外施設「あそびあランド」での雪遊びや餅つき体験は、東京では日ごろ味わうことのできない貴重な体験として、子どもたちにとって一生の宝物になるのではないのでしょうか。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。
結びに、これからも中央区のますますのご発展と、区民、市民を中心とした心に残る交流ができますことを願うとともに、区民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、新年のごあいさつといたします。

新春のにぎわい

1月4日 新春こども凧あげ大会



当日(午前11時~午後2時)は先着200人にたこのプレゼントがあります(浜町運動場 日本橋浜町2-59-1)

1年の招福と無病息災を祈願しながら、新春の日本橋の魅力を満喫できます(撮影場所 梶森神社)

元旦~ 日本橋七福神めぐり



1月2日・3日 放鷹術の実演



午前11時と午後2時に、伝統ある鷹狩りの技が見られます(浜離宮恩賜庭園、写真は平成27年1月3日撮影)

1月13日 新年こども羽根つき大会



今年も区内全小学校が優勝を目指して熱戦を繰り広げます(総合スポーツセンター 日本橋浜町2-59-1)

年の初めに区内の神社や寺などで、1年の無事と平安を祈願してはいかがでしょうか(撮影場所 波除稲荷神社)

元旦~ 初詣

